

株式会社 ヒノキヤグループ

2018年11月30日

報道関係各位

～「全館空調を導入しなかった理由・導入後の不満」のトップ2は価格～

## 全館空調の不安と不満を解消する『Z空調』 2018年夏の電気料金発表

(株)ヒノキヤグループ（本社：東京都千代田区 代表取締役社長 近藤昭 以下、ヒノキヤグループ）は、新時代冷暖システム『Z空調』を導入したお客様宅を対象にした2018年7～9月の電気料金の調査を行いました。

調査対象は、単世帯でソーラー発電の設備を持たないオール電化の世帯としましたが、今夏の猛暑に24時間快適な室温を保ち続けたにも関わらず、総務省が発表した一般的な光熱費と同等の電気料金となりました。

『Z空調』開発当初に弊社が調べた全館空調に関する意識・実態調査では、「全館空調を検討したが導入しなかった理由」の1位は「設備の価格が高そう」、2位が「月々の光熱費が高そう」でした。また、実際に全館空調導入者の「全館空調への不満」1位は「設備の価格が高かった」、2位に「月々の光熱費が高かった」と、どちらも全館空調のコストを理由としています。

24時間家中どこでも快適な全館空調のメリットを提供しつつ、これら全館空調のインシヤルコスト、ランニングコストの問題を解決すべく『Z空調』は開発されました。基本的な断熱気密性能の高さに加えオリジナル部材の開発と建物の形状により市販の熱交換型換気システムとエアコン2台だけで空調が可能なシステムのため、設置費用は一般的な全館空調の1/2以下です。また、発売前に実施した実証実験において、『Z空調』のランニングコストは一般的な全館空調の1/3の電気料であることを確認しておりますが、実際の生活を送っているお客様のご協力を得て行った今回の調査で改めて、『Z空調』搭載家屋でも一般的な家屋と同等の光熱費であることが証明されました。

### 調査1：2018年7～9月『Z空調』搭載世帯の電気料金

#### 【調査概要】

実施時期：2018年7～9月

調査対象：『Z空調』搭載世帯・オール電化家屋・ソーラー発電設備無し・2～5名同居の単世帯

調査地域：①4～6地域（関東）／②4～6地域（関東以外）／③3地域

回答数：①19件 ②6件 ③4件

1か月平均光熱費	①4～6地域 （関東）	②4～5地域 （関東以外）	③3地域
『Z空調』搭載世帯	14,493円	12,855円	9,575円
電気・ガス・灯油利用の一般世帯（※）	13,425円	14,581円	12,808円

※総務省 家計調査データ 2018年7～9月を参照。世帯当たり2名以上を対象。

## 調査2：全館空調に関する意識調査

### 【調査概要】

調査時期：2016年7月

調査対象：過去2012年1月以降に戸建注文住宅を購入した主たる決定者で、  
全館空調システムを検討された方

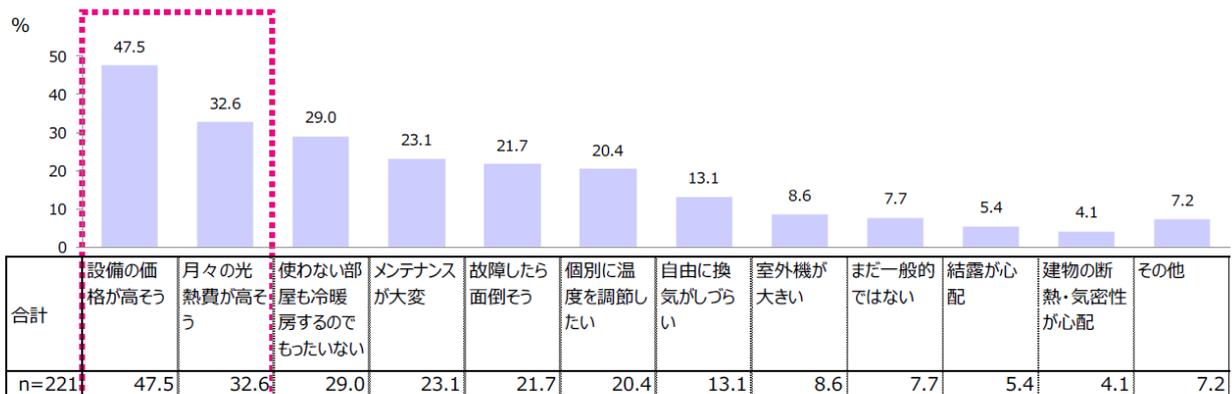
調査手法：インターネット Web 調査

回答数：合計 646 件

I 全館空調システム検討者：221 件

II 全館空調システム導入者：425 件

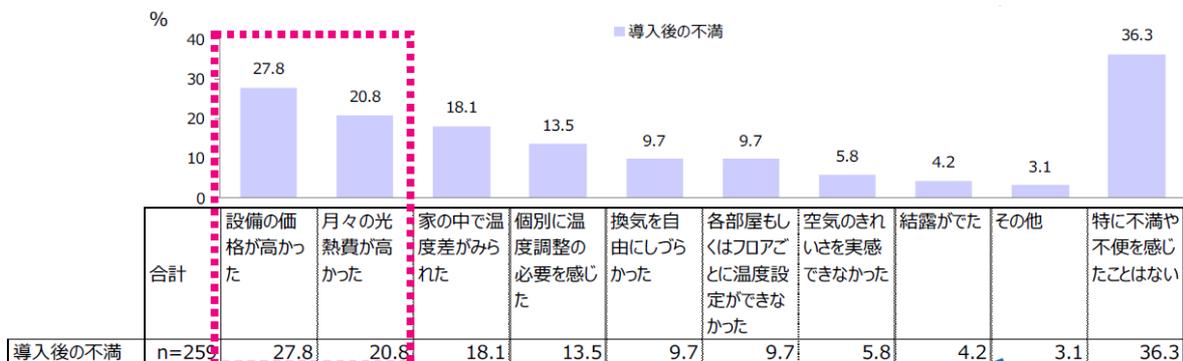
Q:あなたが最終的に全館空調システムを導入されなかったのはなぜでしょうか？(I 限定:複数回答)



※降順にソート

3階までは効果がない、依頼した会社には無かった／採用できなかった、小さな家なので必要がないと思った、コスト不足、個別の空調も必要だと聞いたのでなど

Q:実際に全館空調システムを導入してみて、不満や不便を感じた点はありますか？(II 限定:複数回答)



※降順にソート

メンテナンス代が高い、故障する、埃が積もりやすい、湿度が下がるなど

